

科目	単位	時間	履修学年	講師名
看護過程展開技術	1	30	1	
ねらい	看護を計画的に実践することの必要性とその展開技術を学び記録・報告できる			
回数	授業内容			授業形態
1回目	講義の概要と進め方 問題解決思考 クリティカルシンキング 看護過程の構成要素と一連のプロセス			講義
2回目	看護過程を用いる意義 看護過程の考え方 情報とは・分析とは 問題志向とは 計画とは			講義
3回目	マズローの欲求理論・ヘンダーソン看護理論について			講義
4回目	ヘンダーソン看護理論とゴードンのとの違い ゴードンの機能的健康パターンの11項目について			講義
5回目	ゴードンの機能的健康パターンの11項目について			講義・演習
6回目	ゴードンの機能的健康パターンの11項目について			講義・演習
7回目	事例（間質性肺炎）ゴードンの機能的健康パターンの11項目 情報収集の整理			講義・演習
8回目	事例（間質性肺炎）ゴードンの機能的健康パターンの11項目 アセスメント			講義・演習
9回目	事例（間質性肺炎）ゴードンの機能的健康パターンの11項目 看護診断・ PES 方式			講義・演習
10回目	事例（間質性肺炎）ゴードンの機能的健康パターンの11項目 関連図・看護診断			講義・演習
11回目	事例（間質性肺炎）ゴードンの機能的健康パターンの11項目 関連図・看護診断、まとめ			講義・演習
12回目	事例（間質性肺炎）ゴードンの機能的健康パターンの11項目 看護計画			講義・演習
13回目	事例（間質性肺炎）ゴードンの機能的健康パターンの11項目 堅固計画のロールプレイ SOAP 記入 評価 計画の修正・追加記録			演習
14回目 14.5回目	事例（間質性肺炎）ゴードンの機能的健康パターンの11項目 堅固計画のロールプレイ SOAP 記入 評価 計画の修正・追加記録 まとめ			講義・演習
15回目(45分)	終講試験			試験
教科書	① 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学② 基礎看護技術 I (医学書院) ② 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 (ヌーヴェルヒロカワ)			
評価方法	筆記試験：75点(35分間) ・ 看護過程：25点			
備考	問題解決思考をしっかりと身につけていきましょう。また看護過程の展開の方法や、決まり事、記録の記載方法など、これから始まる臨地実習では重要な視点となります。配布プリントも多くなりますが、しっかり整理をして学習していけるように一緒に頑張りましょう。			